

令和6年度 学校案内

富山大学教育学部
附属特別支援学校



本校の特色

本校は、知的障害のある児童生徒に対する教育を行う
国立の特別支援学校です。

富山大学の附属校として、学生の指導と特別支援教育
の研究を推進する役割を担っています。

教育理念

インクルーシブ教育システムの構築によって目指す共生社会に向け、児童生徒の自立と社会参加を広げ高め、児童生徒の社会的・職業的自立につながるよう、キャリア発達を促す特別支援教育を推進する。

教育目標

健全な心身をもち、自分の力を発揮して、豊かに生きていくことのできる児童生徒を育成する。

教育方針

- 教師と児童生徒及び児童生徒相互の好ましい人間関係を育て、明るく健全な児童生徒の育成を図る。
- 児童生徒の障害の状態及び能力、特性の的確な把握に努め、一人一人に応じた指導を行う。
- 児童生徒の経験や興味・関心を重んじ、自主的・自発的に取り組むことのできる学習内容を設定する。
- 学校生活全体における教育環境を整え、日常生活の指導の充実を図る。

校訓

仲良く

進んで

力いっぱい

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

- 小学部入学にあたっては、必要なことを自分でやろうとする気持ちや、周りへの興味・関心をもとうとする幼児
- 中学部入学にあたっては、健康で明るく、前向きに生活し、集団の中で友達と協力する楽しさや、共に学ぶ喜びを味わおうとする児童
- 高等部入学にあたっては、心身の健康を保つとともに、友達と積極的にかかわる中で、自分で選択しながら豊かな学校・家庭・地域生活を送ろうとする生徒

学校沿革

昭和43年 4月 教育学部に昭和42年4月養護学校教員養成課程新設に伴い、附属小学校特殊学級1学級新設
7月1日図書室に開級

昭和44年 4月 附属小学校特殊学級2学級となる

昭和45年 4月 附属中学校特殊学級1学級新設

昭和45年12月 特殊学級校舎新築竣工移転

昭和46年 4月 附属中学校特殊学級2学級となる

昭和47年 4月 附属中学校特殊学級3学級となる

昭和50年 4月 附属小学校特殊学級3学級となる

昭和51年 4月 富山大学教育学部附属養護学校として設置

昭和52年 4月 高等部1学級新設

昭和53年 4月 高等部学年進行で2学級となる

昭和53年 6月 校歌制定

昭和53年11月 校舎増築着工

昭和54年 4月 高等部学年進行で3学級となる

昭和54年 7月 校舎増築竣工

昭和60年 3月 実習棟竣工

平成12年11月 日常生活訓練施設竣工

平成16年 4月 2学期制導入

平成17年10月 富山大学人間発達科学部附属養護学校に名称変更

平成19年 4月 富山大学人間発達科学部附属特別支援学校に名称変更

平成21年 4月 校章変更

平成23年 5月 皇太子殿下行啓訪問

平成26年 3月 耐震工事に伴う校舎改修

平成28年10月 創立40周年記念式典挙行

令和 4年 4月 富山大学教育学部附属特別支援学校に名称変更

本校の使命

本校は富山大学教育学部の附属学校として、大学と連携しながら、実践的な研究と教育実習等教員育成に向けた学生の指導を行っています。

○教育実習



○公開教育研究会



児童生徒の実態

○在籍児童生徒数

3学部 学年 性別	小学部						中学部				高等部			合計		
	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	1	2		3	計
男	2	3	3	3	2	2	15	3	4	5	12	6	5	5	16	43
女	1	0	0	0	1	1	3	3	1	0	4	1	3	3	7	14
計	3	3	3	3	3	3	18	6	5	5	16	7	8	8	23	57

(富山市、射水市、高岡市、上市町在住)

○在籍児童生徒の障害に関する医学的所見

	てんかん	ダウン症候群	自閉症
小学部	1	2	13
中学部	0	2	11
高等部	2	4	14
計	3	8	38

保護者との連携

OPTA活動



夏休みレクリエーション



避難生活体験講座

○父親の会



ボウリング大会



研修会

○同窓生親の会



コンサート



研修旅行

小学部

健康で明るく、前向きに生活し、集団の中で友達と協力する楽しさや共に学ぶ喜びを味わおうとする児童を育てます。

働く

- ・健康で元気よく活動できる体をつくる
- ・身の周りのことを一人でできる
- ・友達と一緒に仲良く活動する
- ・楽しい活動に取り組む中で自分で考えたり選んだりして行動する

暮らす 遊ぶ



国語



遊びの指導



プログラミング



キッズタイム

小学部 日課表

	月			火			水			木			金							
	1-2年	3-4年	5-6年	1-2年	3-4年	5-6年	1-2年	3-4年	5-6年	1-2年	3-4年	5-6年	1-2年	3-4年	5-6年					
8:30	登校																			
8:30	チャレンジタイム・朝の会(日常生活の指導)																			
9:15	キッズタイム(遊びの指導)												プログラミングタイム(自立活動)							
9:25	自立活動																			
10:20	国語			算数			国語			算数			国語							
11:15	図画工作	3~6年 自立活動		低学年 音楽		高学年 体育		生活単元学習			低学年 体育		高学年 音楽		低学年 遊びの指導		高学年 体育			
12:00	給食・昼休み																			
13:00	特別活動																			
13:45	4~6年 日常生活の指導	日常生活の指導	3~6年 日常生活の指導		1~3年 日常生活の指導		高学年 遊びの指導		日常生活の指導		生活単元学習		生活単元学習		日常生活の指導		生活単元学習		日常生活の指導	
14:40	帰りの会																			

中学部

心身の健康を保つとともに、友達と積極的にかかわる中で、自分で選択しながら豊かな学校・家庭・地域生活を送ろうとする生徒を育てます。

- ・健康な体と明るい心をつくる
- ・自分のことは自分でする
- ・友達と進んで協力する
- ・目標を立てて最後まで取り組む



保健体育



外国語



美術



総合的な学習の時間

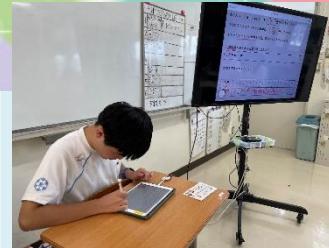
中学部 日課表

	月			火			水			木			金		
	1-2年	3-4年	5-6年	1-2年	3-4年	5-6年	1-2年	3-4年	5-6年	1-2年	3-4年	5-6年	1-2年	3-4年	5-6年
8:30	登校														
8:30	チャレンジタイム														
9:20	国語			日生			マイチャレ			日生			国語		
9:25	自立活動			数学			国語			数学			国語		
10:15	音楽・美術			音楽・美術			保健体育			外国語/情報			保健体育		
11:10	総合			自立活動			音楽・美術			音楽・美術			音楽・美術		
12:05	給食・昼休み														
13:00	特別活動														
13:50	特別活動			生単			作業学習			生単			作業学習		
14:45	帰りの会														

高等部

心身の健康を保つとともに、他者と積極的にかかわる中で、自分で決めながら豊かな社会生活を送ることができる生徒を育てます。

- ・健康な体と明るく強い心をつくる
- ・社会のルールとマナーを理解し、行動できる
- ・他者への思いやりの気持ちを持ち、望ましい人間関係をつくる
- ・自分で考えたり、決めたりして前向きに活動する



数学



情報



生活単元学習



生活単元学習

高等部 日課表

	月			火			水			木			金		
	1-2年	3-4年	5-6年	1-2年	3-4年	5-6年	1-2年	3-4年	5-6年	1-2年	3-4年	5-6年	1-2年	3-4年	5-6年
8:30	登校														
8:30	チャレンジタイム・朝の会(日常生活の指導)														
9:20	音楽美術			作業学習			音楽美術			作業学習			生活単元学習		
9:25	外国語/情報			作業学習			総合的な探究の時間			生活単元学習			生活単元学習		
10:15	特別活動			作業学習			数学			国語			数学		
11:15	国語			作業学習			保健体育			自立活動			保健体育		
12:05	給食・昼休み														
13:00	特別活動														
13:50	特別活動			作業学習			数学			国語			数学		
14:45	帰りの会														

教育支援計画に基づいた 一貫した指導

働く、暮らす、遊ぶの視点で、本人、保護者と話し合い、目標を設定します。

自立活動

児童生徒の自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う学習をしています。一人一人の心身の障害の状態やねらいに応じて、個別あるいは小集団による指導の他に、学校生活全般を通して指導を行います。

外国語/情報

中学部・高等部では、外国語と情報の授業があります。外国語では、A L Tと簡単な会話の学習を行います。情報では、パソコンやデジタルカメラなどの基本操作や、ワード、エクセル、パワーポイントなどを活用した簡単な文書作成を学習します。

プログラミング教育

児童生徒の論理的思考を促すために全学部でプログラミング教育を積極的に取り入れています。

自立と社会参加を広げる校外学習

本校では、公共の交通機関を利用して、小学部1年から計画的に校外学習を行います。

主な行事

- 4月 前期始業式 入学式
- 5月 附属中学校との合同運動会 前期児童生徒総会
- 6月 春季就業体験(高)
- 7月 修学旅行(小5、6)(中3)(高2、3) 宿泊学習(中1、2)
- 8月 家庭訪問 教育実習(下旬~)
- 9月 前期終業式
- 10月 後期始業式 学習発表会
- 11月 秋季就業体験(中・高)
- 12月 後期児童生徒総会
- 1月 冬季就業体験(高3)
- 3月 卒業を祝う会 卒業式 修了式

教育課程

① 小学部

学年		1年	2年	3年	4年	5年	6年
教科・領域等	生活	(102)	(105)	(175)	(175)	(175)	(175)
	国語	102 (34)	105 (35)	105 (35)	105 (35)	105 (35)	105 (35)
	算数	68 (34)	70 (35)	70 (35)	70 (35)	70 (35)	70 (35)
	音楽	34 (68)	35 (70)	35 (70)	35 (70)	35 (70)	35 (70)
	図画工作	34 (34)	35 (35)	35 (35)	35 (35)	35 (35)	35 (35)
	体育	34 (68)	35 (70)	35 (70)	70 (70)	70 (70)	70 (70)
特別の教科 道徳		教育活動全体を通して指導 (34) (35)					
領域別の指導	特別活動	34	35	35	35	35	35
	自立活動	102 (68)	105 (105)	140 (70)	140 (70)	140 (70)	140 (70)
各教科等を合わせた指導	遊びの指導	102	105	105	105	105	105
	日常生活の指導	306	315	280	280	245	245
	生活単元学習	34	70	140	140	175	175
	合計	850	910	980	1015	1015	1015

② 中学部

学年		1年～3年
教科・領域等	国語	105(35)
	数学	70(35)
	社会	(35)
	理科	(35)
	音楽	70(35)
	美術	70(35)
	保健体育	105(35)
	職業家庭	(105)
	外国語	35
情報	35	
特別の教科 道徳		教育活動全体を通して指導 (35)
領域別の指導	特別活動	35
	自立活動	70(35)
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	140
	生活単元学習	140
	作業学習	140
総合的な学習の時間		35
合計		1050

③ 高等部

学年		1年～3年
教科・領域等	国語	70(35)
	数学	70(35)
	社会	(35)
	理科	(35)
	音楽	35
	美術	35
	保健体育	70(35)
	職業	(105)
	家庭	(105)
外国語/情報	70	
特別の教科 道徳		教育活動全体を通して指導 (35)
領域別の指導	特別活動	35
	自立活動	35(140)
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	140
	生活単元学習	105
	作業学習	315
総合的な探究の時間		70
合計		1050

教職員構成

職名	校長	副校長	教諭	養護教諭	栄養教諭	非常勤講師等					スクールセラー	四校園事務	調理師・調理員	用務員・事務員・補助員	学校医・薬剤師
						学習支援	A L T	作業療法士	清掃指導	農業指導					
人数	1	1	25	1	1	4	1	1	1	1	1	4	2	3	6

本校の特色ある取組

チャレンジタイム

児童が見通しをもって取り組む活動を「チャレンジ」とし、その取組を行う時間を「チャレンジタイム」としています。個々の課題に主体的に継続して取り組む力を培います。

小学部

ほめられたり、感謝されたりすることを励みに、支援ツールを手掛かりとして、自分からチャレンジ活動に取り組みます。

中学部

教師や保護者、友達から評価されることを励みにしたり、自分の活動を振り返ったりしながら、支援ツールを活用し、教師と相談して決めた目標に向かってチャレンジ活動に取り組みます。

高等部

将来の生活をより良いものにするため、将来の姿をイメージしたり、自分の生活を振り返ったりしながら、自分で決めた目標に向かってチャレンジ活動に取り組みます。

○主な課題

〈お手伝い課題〉

〈運動課題〉

〈学習課題〉

〈余暇的課題〉



支援ツール

支援ツールは、豊かで自立的な家庭・地域社会を目指して、子供たちが自主的・自発的に活動できるように開発された道具や手段です。

「自分でできた」経験を積み重ねるために

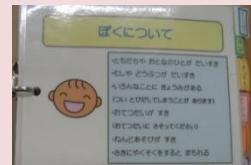
取り組みやすい
環境を整える

理解を助け、
見通しがもてる
ようにする

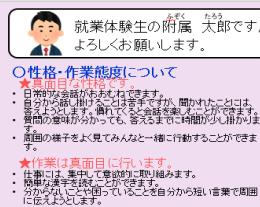
技能を助け、
自分の力で
できるようにする

達成感を得て
意欲を高める

支援環境を整える 協働ツール



支援者が子どもを理解するためのサポートブック



教師と就業体験先が共通の支援をするためのサポートシート

自発を促す 手がかりツール



見通しをもつための手順表



自己選択の機会を作るための活動選択カード

実行を助ける 手がかりツール

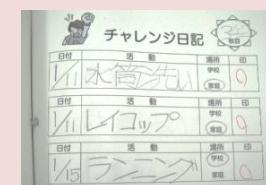


ワイパー目印



ずれないシート

評価の機会を 提供する 交換記録ツール



チャレンジ日記に記録することで褒められ認められる



チャレンジ日記を基に友達とも認め合うチャレンジ大会

進路指導の流れ

基本的な生活習慣・身辺自立

人との関わり
コミュニケーション

役割を果たす喜び

夢や希望

働く喜び
あこがれ

自己理解

自己選択

小学部段階



中学部段階

作業学習

クリーニング班



リサイクル班



縫製班



中学部では、一人一人の可能性を広げるため、3年間で3つの作業学習を一巡し、経験します。作業学習で制作した製品は、学習発表会や授業参観等で販売し、生徒たちの相手を思い、丁寧に製品を仕上げる意欲に繋がっています。

高等部段階

作業学習

縫製班



ハウスキープ班



高等部では、作業学習を通して、進んで仕事をする事、あいさつ・報告・返事をする事など、将来の職業生活に必要な力を身に付けられるようになっています。ものづくり班、縫製班、清掃班、ハウスキープ班の4つに分かれて作業を行っています。

清掃班



ものづくり班



一人一人に応じた社会参加に向け ～自己選択・自己決定できるために～

本校の就業体験

		春季（2週間）	秋季（3週間）		冬季
中学部	1年	合同就業体験	校内		校外 1週間
	2年				
	3年				
高等部	1年	校内	校外 1週間	校外 1週間	
	2年	校外 最長2週間	校外 最長2週間		
	3年	校外 最長2週間	校外 最長3週間		

中学部では、年に1回、5日間、高等部と合同で校内就業体験を行います。合同で行うことで、身近な先輩の姿を見て、少し先の働く自分の姿を思い描くことができるようにしています。

高等部では、春と秋の年に2回、校内外で就業体験を行います。複数の事業所を体験することで、自分に合った仕事は何かを考えたり、体験先からの評価を前向きに受け止めたりしながら自分自身で進路先を選ぶことができるようにしています。

高等部の進路実地学習

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
高1			事業所見学 (職場①)	進路懇談会	職場体験				進路懇談会			
高2	事業所見学 (グループホーム)		校外就業体験	進路懇談会	職場体験			校外就業体験	進路懇談会			
高3				進路懇談会					進路懇談会	校外就業体験		

高等部では、事業所やグループホームの見学、職場体験などを通して、就労に必要な技能を知り自分の進路を考えることができるようにしています。また、卒業生やその保護者から卒業後の生活について話を聞く研修会なども行っています。

高等部進路状況（卒業時）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
企業就労	3	1	1	1	1
福祉就労	5	7	6	5	7
その他	0	0	0	1	0
計	8	8	7	7	8

○中・高合同就業体験



(校内：割り箸班)



(校内：チップ班)

○高等部校内就業体験



(校内：委託作業班)



(校内：カレンダー班)

○高等部校外就業体験



就業体験（校外：企業）



(校外：福祉サービス事業所)

○高等部事業所見学・校外学習



事業所見学（グループホーム）



職場体験（富山県庁）



校外学習（交通安全教室）



校外学習（富山市役所）

卒業生への支援・アフターケア

対象	卒業後5年間
時期	年2回実施 夏季休業期間中、年度末休業期間中
<ul style="list-style-type: none"> 学校より進路先を訪問し、近況を確認し、必要な際は、支援に入る。 ※電話での聞き取りになる場合もある。 	

通学方法

小学部は保護者の送迎で通学します。
 中学部・高等部は、将来の自立と社会参加を目指し、路線バスなどの公共交通機関を利用して通学する生徒もいます。

経費

学校給食費、交通費、学用品・通学用品購入費、修学旅行費、教科書用図書購入費などの経費については、国及び県から就学奨励費として補助されます。ただし、各支給対象項目には限度額があり、各家庭の状況によって決まります。
 その他、毎月、教材費、児童生徒会費、進路支援費(中、高) P T A会費、後援会費等を集金します。



本校への入学を希望される方へ

学校見学会 5～6月

☆保護者の方のみの参加です。
 ☆該当年齢以外の参加も受け付けます。
 (令和6年度は年中、年長、小5、6年、中1～3年とさせていただきます。)

体験学習 8月

☆小学部は親子で、中、高等部は本校の生徒と一緒に学習に参加します。
 ☆該当年齢のみの参加です。

入学検査合格発表 11～12月

入学者保護者説明会 1月



就学・教育相談、学校見学

随時受け付けています。
 在籍校園を通して、電話・メールでお気軽にご相談ください。

研究のあしあと

1971 (昭和46)年
 1973 (昭和48)年
 1975 (昭和50)年
 1977 (昭和52)年

研究主題

こどもがよろこんで学習するための指導
 よろこんで学習するこどもを育てる指導
 特殊学級における養護・訓練の指導
 養護・訓練の指導

子どもの「力」を育むための授業研究

力強く生きぬく子どもを育てる教育課程の編成
 ひとりひとりの生活を豊かにする学習の創造
 ～授業の工夫を通して～
 個人差に応じた体力づくりの指導
 表現力が高まる指導はどうあればよいか
 ～音楽科・美術科(図画工作科)の視点から～
 生活力を高める「かず」の指導

個に応じた支援ツールの研究

一人一人の教育的ニーズに応じた支援はどうあればよいか
 ・家庭でも使える支援ツールづくり
 ・個性を生かす支援ツールと環境づくり
 ・個別の支援計画・支援ツール・児童生徒を取り巻く環境

児童生徒が地域社会で主体的に活動するための支援の研究

児童生徒が地域社会で主体的に活動するための支援はどうあるべきか
 ・家庭や関係機関と連携して
 ・家庭や地域の支援機関と連携して
 ・地域生活につながる授業づくり
 ・キャリア発達を育む授業づくり

キャリア発達を促す授業づくりの研究

キャリア発達を促す授業づくり
 ・参加を高める力を伸ばすために
 ・家庭や地域で主体的に活動・参加する姿を目指して

子どもたちの姿から「学びあう」校内研修の在り方

自分らしい授業づくりを支える学びあい
 専門家として学びあい、高め合うための校内研修の在り方

子供の姿から学び合う授業研究 ～学ぼうとしている子供の学びの過程を観るために～

・プログラミング教育の視点を取り入れた授業研究

「子供の主体的な学びを実現する授業づくり ～子供は何をどのように学ぼうとしているのか～」

・子供の学ぶ姿を見る力を高める「学びあいの場」
 ・子供の姿から子供の実態や授業の狙いに迫り、更なる改善を考えていく「授業づくりの聴き合い」

子供の主体的な学びを実現する授業づくり ～単元構成の工夫及び教員同士の聴き合いの充実～

・「学びあいの場」で培った子供を見る力を土台にした、「授業づくりの聴き合い」の更なる充実
 ・子供が考えるための単元構成イメージを活用した、授業づくりの工夫

知的障害のある児童生徒の予測困難な未来社会を拓く 情報活用能力の育成

・「ICT活用」「プログラミング教育」「デジタル・シティズンシップ教育」の3つの視点を取り入れた縦割りグループでの授業実践

1981 (昭和56)年
 1985 (昭和60)年
 1987 (昭和62)年
 1991 (平成3)年
 1996 (平成8)年
 1998 (平成10)年

2005 (平成17)年

2014 (平成26)年

2016 (平成28)年

2020 (令和2)年

2021 (令和3)年

2022 (令和4)年

2023 (令和5)年

出版物

・個性を生かす支援ツール (2001.2)



・子ども生き生き支援ツール (2004.9)



・思いっきり支援ツール & DVD (2006.8)



・特別支援教育における授業づくりのコツ (2012.5)



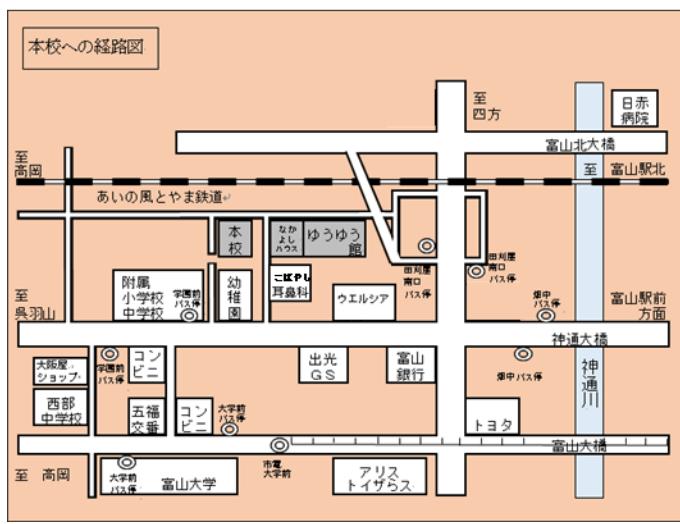
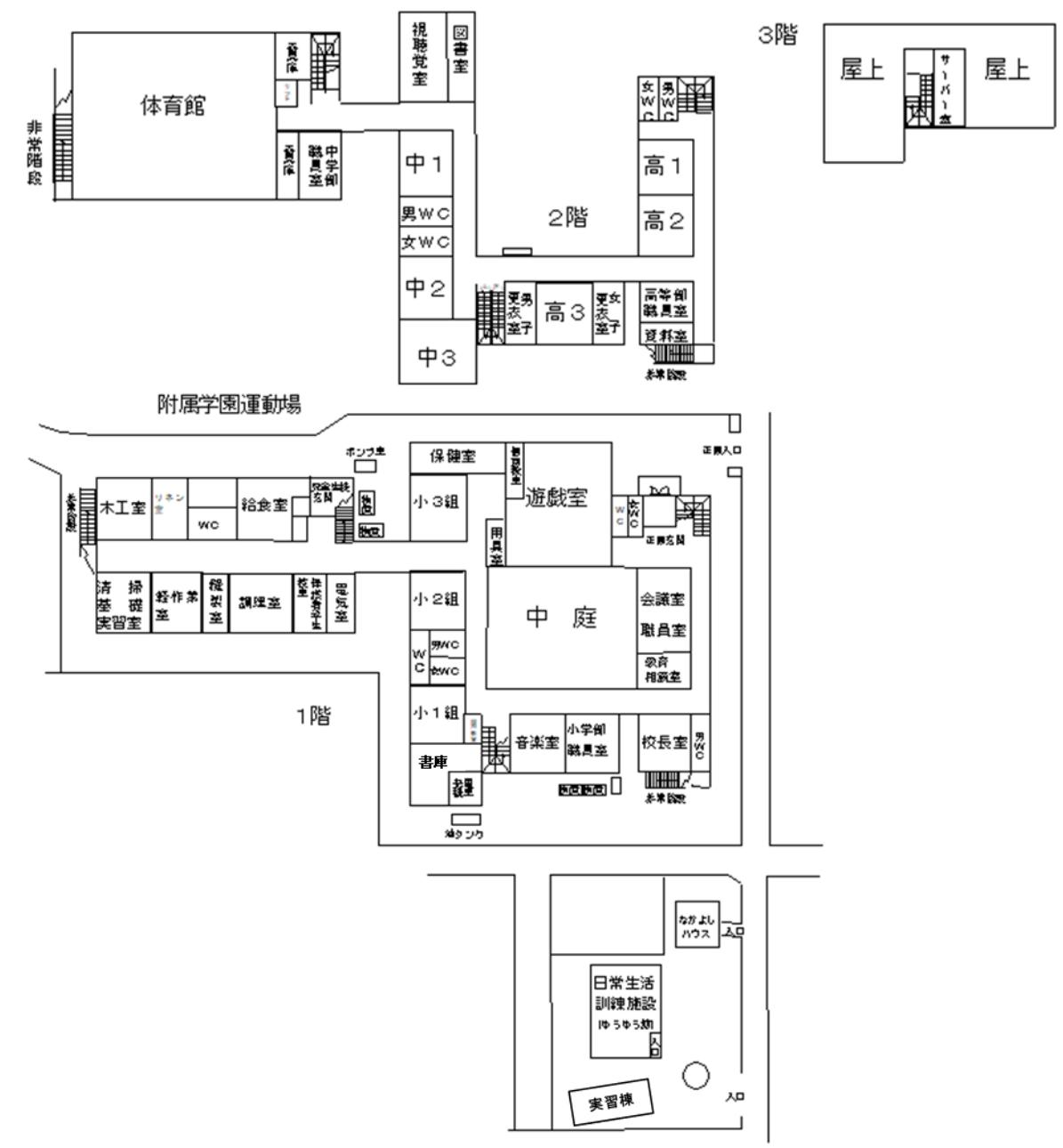
・特別支援教育のアクティブ・ラーニング (2019.9)



・2020 富附特支型研修「学びあいの場」(DVD) (2020.4)



校舎平面図



アクセス 富山駅より

- <タクシー> 約10分 1,000円程度
- <バス> 富山駅7番乗り場 新桜谷町行 附属学園前下車 約10分 240円

〒930-8556 富山市五艘1300
 TEL (076) 445-2809
 FAX (076) 445-2811
 Eメール: fzksnes@edu.u-toyama.ac.jp
 ホームページ:
<http://www.fzks.fuzoku.u-toyama.ac.jp/>